



コンクリートの品質管理基準等の取扱いについて（通知）

技術基準の種類: 技術管理
通知日: 平成 4 年 3 月 3 0 日

発管第 2 3 6 号
平成 4 年 3 月 3 0 日

部内各課長殿
各土木事務所長殿
鳥取港湾事務所長殿

土木部長

コンクリートの品質管理基準等の取扱いについて（通知）

このことについて、下記のとおり定めましたので平成 4 年 4 月 1 日以降
起工決裁する工事に適用してください。

記

- 1 空気量を測定（土木工事施工管理基準重要度 2）する工事について
凍結融解等の気象作用を受ける構造物で監督員が指示した工事の場
合に行うこと。
なお、現場説明書のその他の項に施工条件の明示を行うこと。
- 2 型枠脱型時期の判定について
コンクリートの型枠脱型時期の判定については次のとおりとすること。
ただし、建築工事は除くものとする。
ア コンクリート温度と強度との関係式（表 - 1）及びコンクリート温
度と強度速見表（図 - 1 ~ 4）を参考に脱型時期を判定してもよい。
イ アによりがたい場合、現場において供試体 1 本（各材令当たり）採
取し、その試験結果で判定してもよい。
ウ 当該工事のコンクリート打設日から 2 週間以内に同一呼び強度の試
験結果がある場合、このデータに基づき判定してもよい。

表-1 コンクリート温度と強度との関係式

【セメント：高炉セメント B 種】

呼 び 強 度	材 令	相 関 係 数 γ_o	推 定 式 単位: kgf/cm^2
1 6 0	2 日	0 . 9 1 8	$160 \sigma_2 = 1.47 + 2.08 C.T$
	3 日	0 . 8 3 2	$160 \sigma_3 = 16.19 + 1.924 C.T$
	4 日	0 . 8 0 5	$160 \sigma_4 = 24.77 + 2.26 C.T$
	5 日	0 . 9 1 5	$160 \sigma_5 = 33.26 + 2.46 C.T$
1 8 0	2 日	0 . 7 4 8	$180 \sigma_2 = 21.5 + 1.412 C.T$
	3 日	0 . 8 4 4	$180 \sigma_3 = 30.82 + 1.762 C.T$
	4 日	0 . 7 7 1	$180 \sigma_4 = 50.98 + 1.707 C.T$
	5 日	0 . 6 9 6	$180 \sigma_5 = 59.35 + 1.76 C.T$
2 1 0	2 日	0 . 8 8 5	$210 \sigma_2 = 11.42 + 2.31 C.T$
	3 日	0 . 7 9 7	$210 \sigma_3 = 37.08 + 1.88 C.T$
	4 日	0 . 7 6 7	$210 \sigma_4 = 60.28 + 1.73 C.T$
	5 日	0 . 6 5 0	$210 \sigma_5 = 71.49 + 2.11 C.T$
2 4 0	2 日	—	$240 \sigma_2 = 29.26 + 1.93 C.T$
	3 日	—	$240 \sigma_3 = 39.84 + 2.43 C.T$
	4 日	—	$240 \sigma_4 = 55.76 + 2.45 C.T$
	5 日	—	—

注) 1. C.T はコンクリート温度

2. 相関係数 γ_o が 1 に近い値ほど相関が強い。

〔出典：鳥取県生コンクリート工業組合技術委員会〕

表-2 各月のコンクリートの最高と最低温度

〔単位：℃〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
最 高	21.0	24.5	27.0	31.5	31.5	30.0	24.0	22.0	18.0	9.0	12.0	13.0
最 低	12.5	17.0	22.0	26.5	28.0	24.0	19.5	12.0	7.5	5.0	5.0	8.5

注) 測定期間：S57.4.1～S60.3.31

〔出典：鳥取県生コンクリート工業組合技術委員会〕

図-1

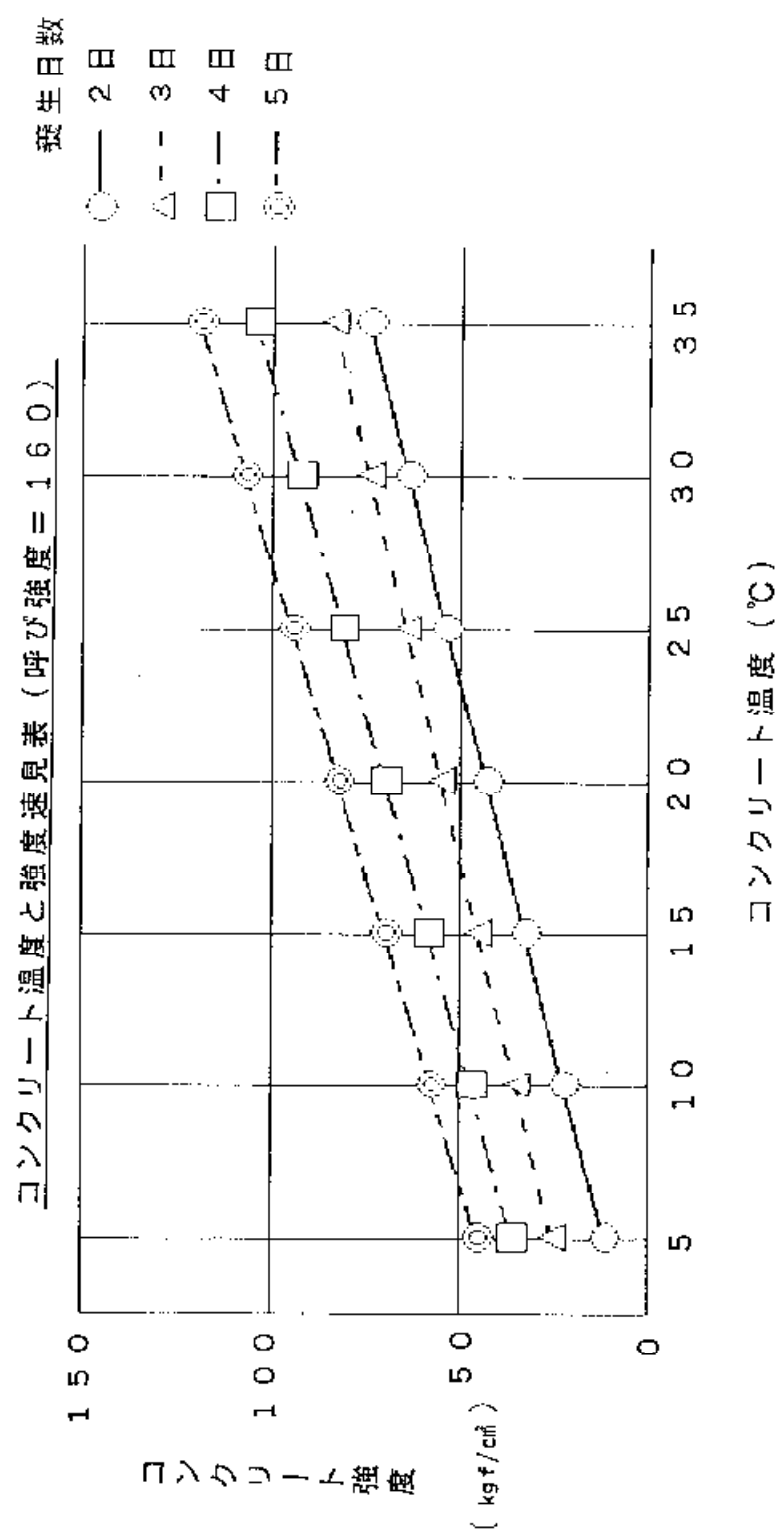


図-2

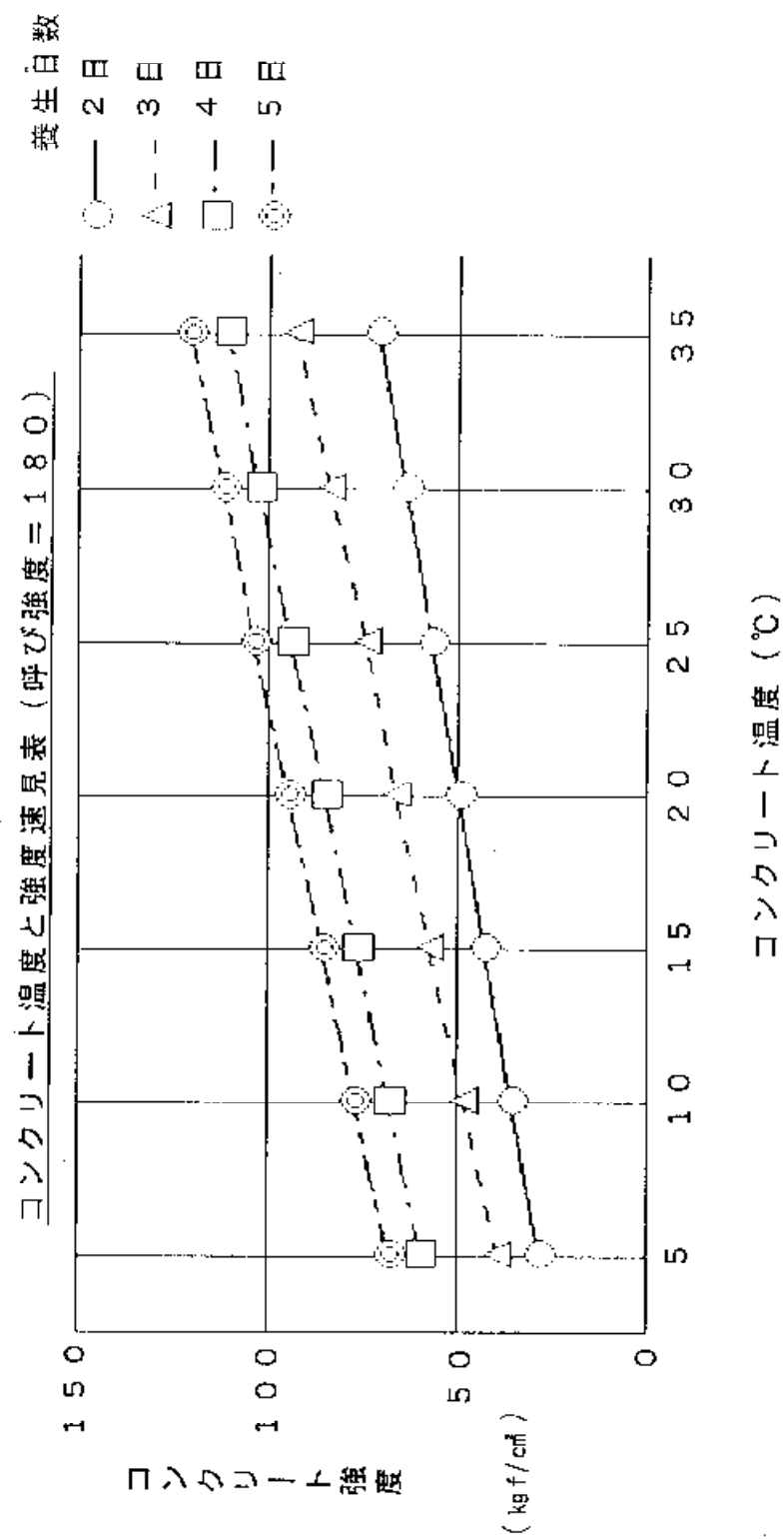


図-3

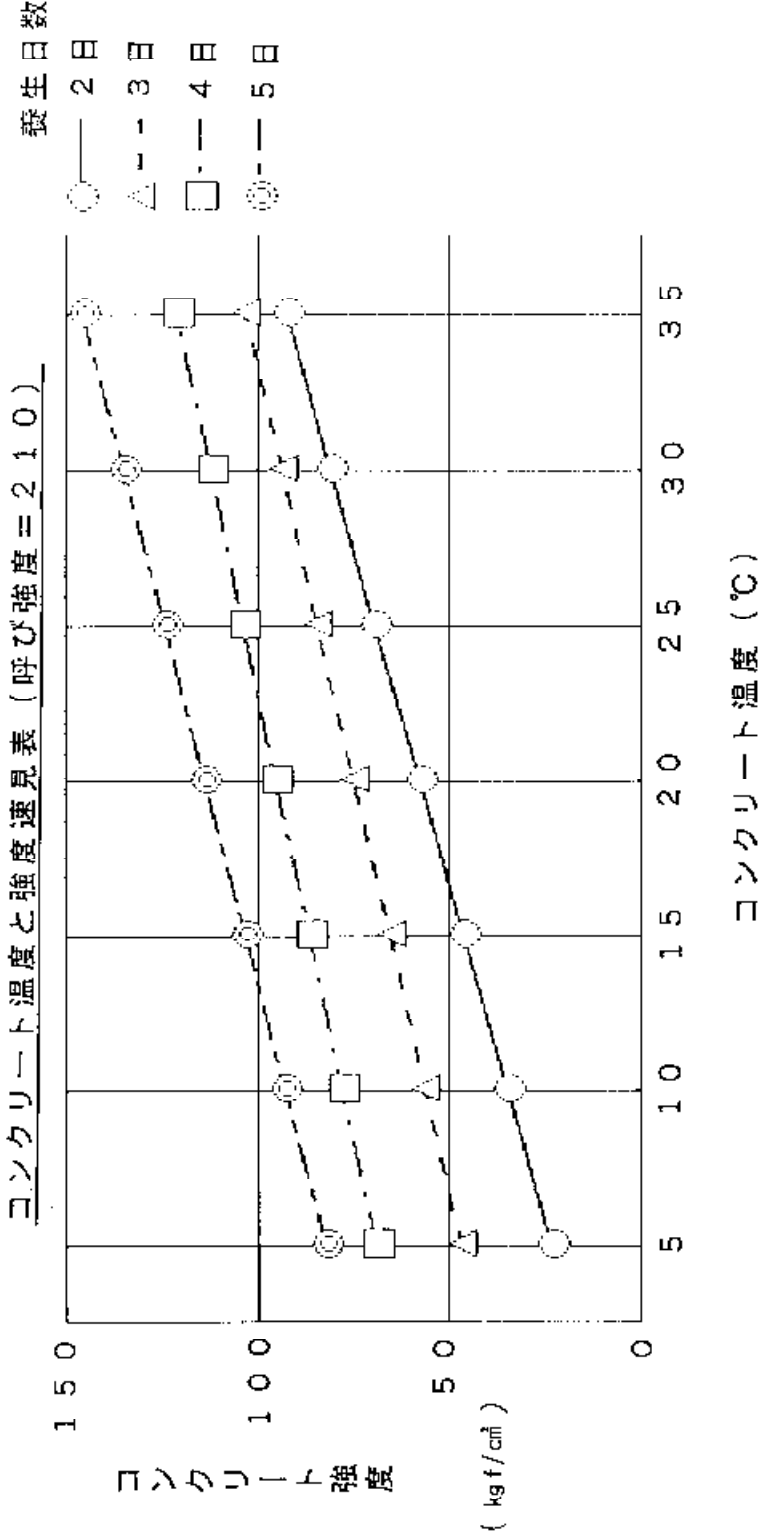


図 - 4

